

社会教育委員からの提言がありました

社会教育委員の会議では、教育委員会からの諮問を受け、次のような提言（掲載は一部）をまとめました。なお、詳細については井川町HPの教育委員会ページに掲載しておりますのでご参照ください。

諮問 成人や高齢者を対象にした講座やイベントなどの学習を充実させるにはどうしたらよいか



ニーズの把握

- 早急にアンケートを年代別にとり内容、時期、時間への要望を詳細に把握した上でプランづくりをする。

PRの仕方の改善

- 予定だけでなく昨年の活動の様子を紹介して参加を促す。
- 若い人にはSNSを。井川の強みである有線やフェイスブックなどと併せて行う。

参加しやすい環境づくり

- 勤務先が秋田市であることが多いので、夕方や夜の会を多くする。
- 一人では参加しづらい。グループや町内会単位だったり、連続講座ではなく1回完結の講座を増やす。
- 公民館に日常的に開放する場を設定し、町民がもっと気軽に出入りできるようにする。

講座の名称や内容の改善

- 高齢大学の名称を「さくら大学」などとし六十歳以上でも参加しやすいようにする。
- 移動研修を「大人の遠足」などとして成人と高齢者の区分を緩やかにする。
- 参加人数は少なくとも、現代に必要な講座やニーズに合致した講座は残す。



学習成果を活用する場づくり

- 高齢大学などで技術を取得した方が子どもたちに魅力を伝える場を夏休みなどに設ける。
- 学校で地域の指導者が講師となって授業を行う場を増やす。

社会教育委員

半田玲子（委員長・田中） 藤田達光（羽立） 森田綾子（小今戸） 越山麻貴子（大野地） 湊教良（坂本） 小林聡子（館岡） 三浦智（学校）

教育委員会関係3月の予定

第2回いかわ夕学の会

演題 「二兎を追うものだけが
二兎を得る」

講師 太田章氏（早稲田大学教授 元レスリングオリンピック日本代表）

日時 3月4日（水）15:45～17:00

会場 義務教育学校ランチルーム

お問い合わせの上、ぜひおいでください。



日	曜	内 容
4日	水	第2回いかわ夕学の会（15：45～義務教育学校）
5日	木	公立高校一般選抜
7日	土	義務教育学校卒業式
8日	日	第2回町スポーツ少年団総会
13日	金	公立高校一般合格発表
20日	金	義務教育学校春休み（4月3日まで）
26日	木	町スポーツ賞授与式
30日	月	3月定例教育委員会

学校応援協議会が年間の評価を行いました

2月18日、今年度最終の第4回学校応援協議会が開催され、今年度の教育活動の評価を行いました。

会議では、5つの項目についてABCDの4段階で決定した後意見を交換し、委員からは学校の活動を前向きに評価し来年度に期待するといった意見が多く出されました。

評価項目	評価
学校の勉強がよくわかる	B
学校が楽しい	B
思いやりのある児童生徒	A
地域から信頼される学校	A
挑戦し創造する教師	A



話し合いから

委員「今年度は多くの講師を招き、かつ体験的な講座が多くよい取り組みであった。」
 委員「井川讃歌を聞きに行ったが、1年生から6年生の歌唱力が上がっていると感じた。」
 委員「来年度放課後拡充カリキュラムが実施されるが先生方の負担はどうなるのか。」
 学校「放課後の時間に余裕ができるので負担は軽くなると思う。」
 委員「子ども同士の乱暴な言葉づかいについて相手を思いやる大切さを教えてほしい。」
 学校「今年度、いじめ撲滅ファイルを作成し取り組んできた。今後も指導していく。」
 委員「義務教育学校はクラス替えがなく逃げ場がない。どんな対策をとっているか。」
 学校「不登校などの要因についても生徒の状況をとらえて個々の対応に努めている。」
 委員「学校から保護者に対して積極的なかわりを持ってほしい。」
 委員「いじめがないという質問に否定的な回答をした子どもが16人いるがその理由は。」
 学校「冷やかしも含めた数。その中身をしっかりと把握して対応したいと考えている。」
 委員「PTAの時だけでなく、学校祭での託児を検討してほしい。」

歓声！子ども雪まつり

2月2日（日）、公民館前を会場に、子ども雪まつりを開催しました。今年は暖冬でほとんど雪のない中、当日はさらに晴天となり、一足早い「春祭り」の様相でした。



北海道犬3匹が登場。子どもたちが取り囲みました。



オープニングは和太鼓桜サークル。最後の演奏となる6年生が披露しました。



ポップコーンと石焼き芋、ドン菓子も初登場。おいしくいただきました。



館内では子ども会育成連絡協議会の方々が中心になり、ゲーム大会です。

教育委員会フェイスブックをご覧ください。
www.facebook.com/ikawamatikyoui/



3月定例会（3/30 13：30農村環境改善センター）の傍聴を希望する方は事務局（874-4424）までご連絡ください。

